



おおひら ふみ お
大平 文雄

質問
QUESTION

回答
ANSWER

「勤労青少年ホーム」の 利活用は

2力年の間に方向性を 明確にしたい

〔町長〕

質問 勤労青少年ホームは平成元年2月、15歳以上35歳未満の働く青少年の皆さんが仕事の疲れを癒し、明日への勤労意欲の醸成を目的に、総事業費2億5800万円を費やし、町民からの待望久しかった施設として完成に至りました。しかし勤労青少年ホームは平成31年3月31日に

閉鎖となります。

平成31年1月、現地で勤労青少年ホームの実態を調査しました。

外壁タイルの落下、空調設備の劣化による不稼働、階段のヒビ

等々、放置された状態です。なぜ新耐震基準を充足している建物が30年間何も手を加えることなく、このような状況になってしまったのか、非常に疑問を抱いています。

北部地区の住民は、従来多目的に利用でき

たにもかかわらず、その利便性が損なわれて

いる今日、行政および私ども議員に対して厳しい目が注がれています。

全盛期には、確定申告、健康診断、選挙

投票所、さらには軽運動場は高齢者の健康維持施設として多目的に活用されてきました。

今後、「北部地域コ

ミュニティセンター」としての再生は可能であると思います。早急に方向性を打ち出す時期に来ていると思います。

建設から約30年が経過し、経年劣化などに起因し、随所に改修、修理が必要となる箇所が見受けられるようになりました。

財政面では、一部改修、全箇所改修また、全部解体などのケースについて試算していますが、いずれも高額となっております。

現状の財政状況では多額の費用を予算化する事は難しいですが、管理に係る最低限の業務は実施していきたいと思っています。

また、劣化を防止す

るための対策も必要に

応じてしていきます。

施設の維持管理は、このままの状態では、

景観面、防犯面でも非常に憂慮され、建物の劣化もますます進行すると思われま

す。今後の方針は、建物を取り壊すことは、建物自体が耐震基準を満たしていることもあり、極力避け、有効に利用できる方策を模索していきたいと考えています。

現状では具体的な方向性はお示しできませんが、できれば2力年の間には方向性を明確にしたいと考えています。

財政も厳しい状況です。財政も厳しい状況です。財政も厳しい状況です。

時間をとると思われませんが、中長期的事業計画を策定し、できるところから着手したいと考えています。

また、劣化を防止す

す。

す。

す。

す。

す。

す。



閉鎖する勤労青少年ホーム